

5 cm以上のレキを，すべてビニルシートに取り出す（表面に見えていたレキのみ）。

② レキの大ききで分ける。

大ききによって5～10 cm，10 cm～20 cm，20～30 cm，30 cm以上の4つに分け，その数を調べる。

③ レキの形で分ける。

レキの形で，まるい石，ややまるい石，角ばった石の3つに分け，その数を調べる。

④ レキの種類で分ける。

岩質で分けると，緑色片岩類と花崗岩類，硬砂岩に分けられる。これらの岩石は，阿武隈山地の東縁部に分布している岩石で，逆にレキより，上流の山々をつくる岩石を推測できる。

(5) 調べた結果を表にまとめる。

大 き さ [cm]				レ キ の 形			種 類		
5～10	10～20	20～30	30以上	円	垂円	角	緑色片岩	花崗岩	硬砂岩
17	4	2	0	9	11	3	13	5	5
74%	17%	9%	0%	39%	48%	13%			

四時川（四時橋付近）

同じように下流の川原で調べ，レキの形や大ききが，どのように変わっているかを比較することによって，流水のはたらきについて理解を深めることができる。

上 遠 野 小 学 校

1. 地層の観察

(1) 観察する場所

度京橋の下の崖